

2013.6

組別 4月 実査

772のドラム → バケツのドラム

2015 2. 21

1号機 4F 実査 (11人)

20分 7.8 mSv ヒバク

5人+6人 (東電)

2015/4/30

↓ 奈良林

(強要
した)

↓

抗議

水素爆発は 最初に4階で起きた!?

福島第一原発1号機
原子炉建屋4階現場調査報告

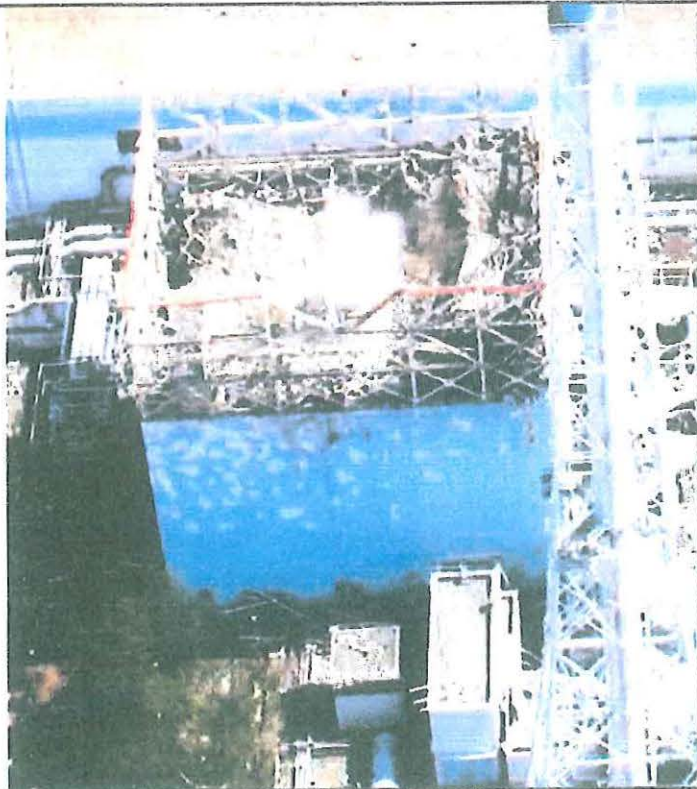
編集 菅野浩太郎 (東電)

発行 東京電力ホールディングス

2015年4月30日

山中 下彦

水素爆発後の
1号機原子炉建屋



写真提供: (株)エアフォトサービス

1号機原子炉建屋の水素爆発問題：

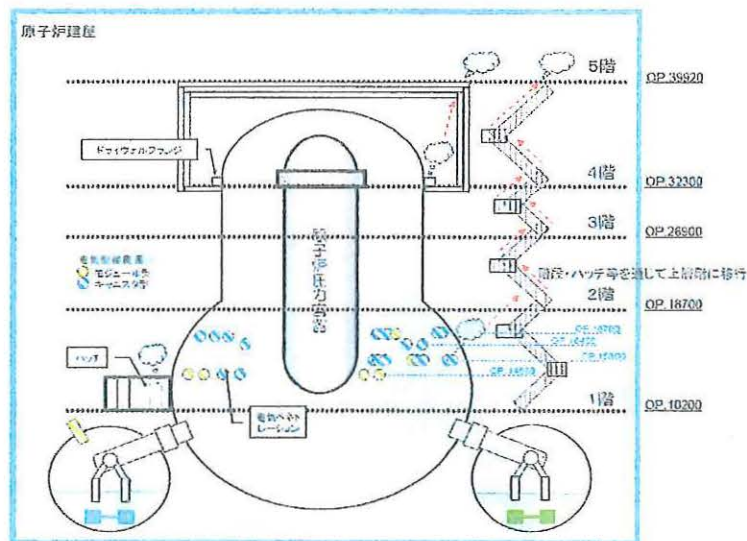
水素爆発は最初に4階で起きた可能性が高い

- あとで述べる理由により、1号機原子炉建屋の水素爆発は、まず原子炉建屋4階で起き、それが5階での大規模水素爆発を瞬間的に誘起した可能性が高い。
- もし4階で先に水素爆発が起きたとすると、4階のIC配管が地震動によって破損し、その破損部から、原子炉で発生した水素が4階に漏出した可能性が出てくる。

この問題の解明が急がれる理由

- 安全上重要な設備・機器への地震動の影響の有無。
- 第一原発1~3号機の原子炉建屋への水素漏出経路は本当に解明されているのか（とくにBWR型原発の再稼働問題とも関係する）

東電が想定している原子炉建屋への水素漏出経路



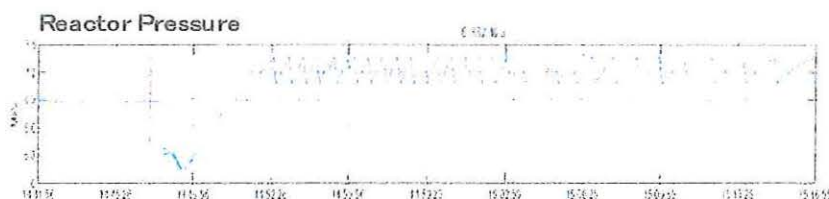
想定漏出経路はシステム構成の違いにより、1号機と3号機で若干異なる可能性あり

東京電力事故調査最終報告書（2012年6月20日公表）より

SR弁(1号 4個 2.3号 8個)

国会事故調が指摘しているとくに重要な現場的事象

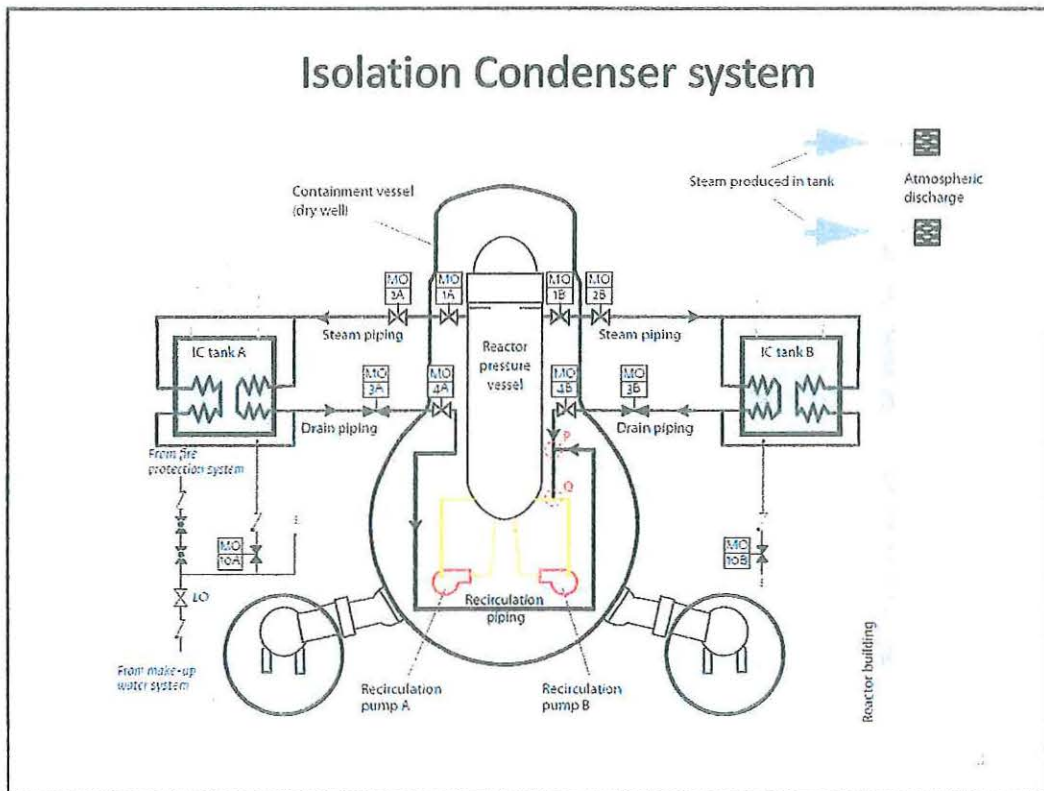
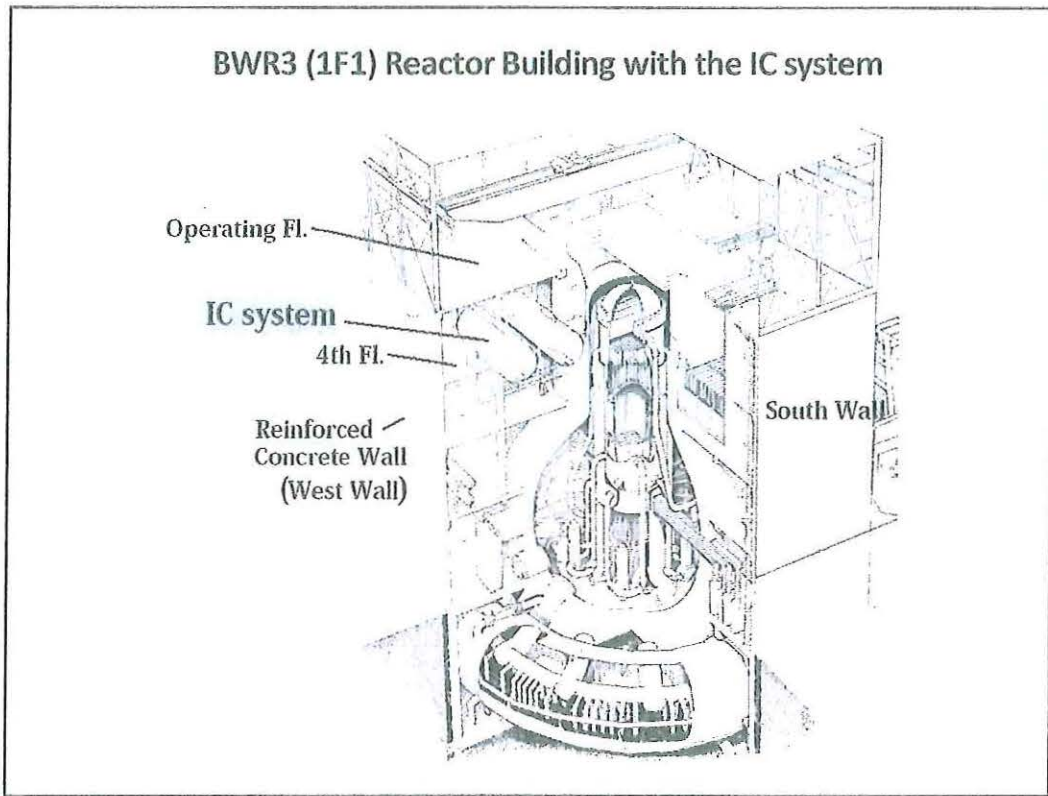
- 地震発生直後に原子炉建屋4階で出水が目撃されている。(A氏、B氏の聞き取り調査で確認。証言が食い違っているところもある。)
- 1号機においては、SR弁(にがしあんぜん^{べん})が作動するたびに生じる大きな音を聞いた者が一人もいない。2号機、3号機に関しては、運転員が「ドドーン」、「地鳴りのような音」、「ズズーン」という音を何度も聞いている。



なぜ4階での最初の水素爆発が疑われるのか

- 4階内部の損傷がきわめて激しい。東電は、4階南西側の損壊は5階での水素爆発の爆風が「大物搬入口」(機器ハッチ)から4階に吹き込んだため、としているが、じつはこの大物搬入口の蓋は、水素爆発が起きる前、鉄製の重い蓋で閉じられていたことが、国会事故調により明らかにされている。
- 4階のICタンクの表面には「雨だれ」状の模様が多く見られる。これは水蒸気の凝縮痕と見られるが、本来4階に水蒸気が存在する理由はないので、もしそれが水蒸気の凝縮痕であるなら、IC配管がどこか破損したため、そこから蒸気が漏出していたことが疑われる。そして、燃料損傷後はこの破損部から水蒸気だけでなく、水素が4階に漏出していた可能性がある。

55°C/hour. → IC E STOPせき



BWR 標がスの充満のテスト. 爆発試験 解明必要